

Q 2

市街地の下をトンネルが通るところは、他に事例があるのでしょうか。

A 2

- 市街地の下をトンネルが通る例は多々あり、例えば、平成29年3月に開通した横浜環状北線は、延長約 8.2 kmのうち、約 5.9 kmがトンネル部で、地上には家屋等があります。
- また、平成27年3月に開通した首都高速中央環状品川線は、多くの区間で山手通りや目黒川の下を通りますが、一部は家屋等の下を通っています。

Q 3

シールド工法によるトンネルは長持ちするのですか。

A 3

- 世界で最初のシールドトンネルは、1843年に完成したテムズ川をくぐる地下鉄トンネルであり、150年以上経った現在でも利用されています。
- 日本では、1917年の羽越^{うえつ}本線折渡^{ほんせん おりわたり}トンネルの工事で始めてシールド工法が採用されました。また、本格的な工事は1936年に着工した関門^{かんもん}海峡鉄道トンネルであり、いずれも現在でも利用されています。
- 現在では、調布駅付近の京王線(地下化)や平成27年3月に開通した首都高速中央環状品川線など、都市部でのトンネルにおいて、数多く採用されている工法です。